

平成29年度 上下水道部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
○上水道事業 市民の衛生的かつ快適なくらしを支えるため、安心して飲める水を将来にわたって途切れなく送りつづける。	1. 収納率の向上	・水道料金負担の公平性確保のため、効率的な手法による収納率向上を図り、市民により良いサービスを提供する。	・現在、①督促②催告③滞納整理④停水予告⑤停水の順序で実施している滞納整理について、高額未納者の減少に伴い、今後③の行程を除いた停水パターンが実行可能となるよう検討する。	・電話、手紙、訪問等の通常督促業務による滞納整理を実施した。 ・延べ43名の納付誓約書を受領した。 ・滞納期数180期減となった。(3月催告時期、前年同期比較。) ・滞納金額は約119万円減額した。	B	・早期工事完成に向け事務を進める。
	2. 中期経営計画の策定	・京田辺市水道ビジョン(15か年事業計画)の最初の5か年実行計画(H25～H29)を更新し、次の5か年実行計画(H30～H34)として、中期経営計画の改定業務を行う。	・策定作業として、施策進捗状況、水需要予測、施策内容の適宜見直し、施設整備の概略、投資計画、財政計画などの検討を行い、次の5年間の中期経営計画として整理する。	・平成30年3月9日の建設経済常任委員会協議会で承認を得て、第2期京田辺市中長期経営計画を策定した。	A	・早期委託業務完了に向け事務を進める。
	3. 下水道事業の地方公営企業法全部適用	・下水道事業の公営企業化、管理者の名称変更に伴う関係例規の整備を行う。	・例規改正作業を委託業者に依頼し、関係例規の洗い出し・改正案の提示を行った上で、関係課と調整を図りながら確認・修正作業を進め、10月を目途に完成し、12月議会議決を経て30年4月に施行する。	・下水道事業の公営企業化、管理者の名称変更に伴う関係例規の整備を行い、12月議会議決を経て30年4月に施行した。	A	・精査が必要な箇所について現地確認を行い、完成を目指す。

平成29年度 上下水道部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	4. 老朽設備や老朽管の更新	・管路の老朽化による漏水、破損事故を防止するため更新周期に基づいて更新事業を進める。	・以下の工事を実施する。 ・松井ヶ丘地区配水管改良工事(第7工区) 延長1,576m ・松井ヶ丘地区配水管改良工事(第9工区) 延長1,424m ・打田地区送配水管改良工事 延長430m	・各関係機関と調整を図ったことにより、3工事共に繰越工事となったが工事の発注事務は完了し、工事施工中。	B	・水運用検討業務の検討結果を平成31年度予算編成時期に反映出来るよう業務を進める。
	5. 施設や管路の耐震化	・管路の耐震化率を向上させるため、布設替え工事等により平成39年度末で耐震化率25%を目指す。	・昨年度策定した基幹管路耐震化計画の結果を基に優先度の高い箇所の詳細設計業務を発注する。	・優先的に(基幹管路の耐震化に向け)整備する箇所を抽出することに期間を要した結果、繰越事業となったが詳細設計業務の発注事務は完了し、委託業務実施中。	B	
	6. 効率的な資産管理	・市のまちづくりの動向に基づき、適時給水区域の見直しを行う。	・現況給水区域の図面を整備する。	・必要箇所の資料収集を行い、給水区域の見直し作業を行った。	B	
	7. 施設や管路の耐震化(水道ビジョン実施方策・重点施策)	・大規模地震災害時でも水道水を送りつけられる地震に強い水道を構築する。	・黒岩配水池詳細耐震診断業務委託を行う。 ・大住高区・低区配水池耐震化に伴う水運用検討業務委託を行う。	・黒岩配水池詳細耐震診断業務は、h30.3.16に業務を完了した。 ・水運用検討業務委託は、松井ヶ丘配水池耐震診断結果による水運用資料収集及び発注計画見直しにより繰越事業となった。	B	

平成29年度 上下水道部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
○下水道事業 公共下水道や農業集落排水施設の整備により市民の生活環境の向上と公共用水域の水質保全を図る。	1. 公共下水道管路施設の長寿命化	・公共下水道管路施設長寿命化計画に基づき、予防保全事業を行う。	・松井ヶ丘地区において、設計及び長寿命化工事を行う。	・松井ヶ丘地区において長寿命化工事を実施した。 【その1】 管渠更生工 L=806.4m 施工前処理工 98箇所 【その2】 管渠更生工 L=933.0m 施工前処理工 143箇所 ・松井ヶ丘地区について詳細設計を実施した。	A	
	2. 下水道事業の地方公営企業法全部適用	・平成30年4月の公共下水道事業及び農業集落排水事業への地方公営企業法の全部適用に向け、移行事務を進める。	・資産評価及び調査を実施する。 ・新企業会計システムを導入する。 ・平成30年度予算(財務諸表)を調製する。 ・出納及び収納取扱金融機関の指定を行う。 ・組織改正に伴う円滑な事務の引き継ぎを行う。	・資産台帳を整備した。 ・新企業会計システムを導入し、平成30年度予算を編成した。 ・出納及び収納取扱金融機関の指定に向け市中銀行と協議し、契約を締結した。 ・組織改正に伴い、事務の引き継ぎを行った。	A	